

山行報告書

報告書作成

2006年2月21日

山名 [山域]	毛無山 御正体山	目的と方法	冬の富士山を眺める
登山期間	2006年2月18・19日	山行形態	日帰り山行(2)キャンプ場テント泊
参加人数	5人		

行動記録

2/18 岡崎市民病院跡P(5:00) = 富士IC = 毛無山登山口P(8:10) - 朝霧高原分岐(10:51) - 毛無山(11:05 12:05) - 登山口(14:50) = いずみの泉 = スーパーオギノ = キャンプ場(戸沢センター)TS1(17:30)
 2/19 TS1(7:00) = 道坂峠登山口P(7:50 8:00) - 白井平分岐(10:21) - 御正体山(11:15 12:00) - 白井平分岐(12:40) - 登山口(14:40) = 道志の湯 = (15:20 16:30) = ほうとう小作(17:00 18:00) = 御殿場IC = 岡崎市民病院跡P(21:00)

概念図



日誌

2/18日 通勤割引を利用して 毛無山へと向かう。晴れの予報がはずれ なんだか怪しい空模様。無料の駐車場はちょっと遠く 駐車料金500円を払い 登山口の近くに駐車。麓からのコースは急登の連続。うっすらと積もった雪に気をつけながら登る。下りにはアイゼンが必要。1600m付近から綺麗な霧氷が現れ撮影タイムとなる。分岐からはなだらかな道となるが積もった雪が凍り足元に気を取られ雪景色をゆっくり観賞できない。頂上にはテントが1張 見えるはずの富士山を想像しながら風を避けて暖かいうどんで冷えた体を暖める。頂上帯は白い世界。下山はアイゼンを付けての岩場歩き。結構気を使う。下山後 キャンプ場での花火の歓迎に感激！

2/19 曇り～晴れ
 道坂峠登山口には先客の車が一台 今倉山へ向かわれたらしく 道中会うことがなかった。今日はこのコースは私たちだけのようです。いきなりの急登 おまけに凍っている。時間をかけてゆっくりと歩く。ゆるやかな尾根道を快適に歩く。アップダウンを繰り返し白井平の分岐に着く。ここからは急坂となるため アイゼンをつける。周りはブナやミズナラ、モミなどの自然林。頂上は広いが展望は樹林に遮られて ナシ。ベンチで暖かいチャンポンをいただく。昨日とうってかわって 穏やかな日差しの中 のんびり自然林を楽しむ。帰りも同じコースなので 周りの植物をチェックしながら 歩く。

感想

毛無山や御正体山は富士山を眺める山と思っていましたが 立ち枯れた草花の多さに 花の山でもあるとあらためて確信しました。予想外の霧氷の歓迎？にラッキー！自然林の中をのんびり歩く心地よさにあらためて山の素晴らしさを 実感しました。…どちらの山もなかなか登りがいがあり 少々お疲れモードでした。

メモ 走行距離 550km いずみの湯 ¥800 道志の湯 ¥500 戸沢キャンプ場¥4200(車一台)